



愛知淑徳大学福祉貢献学部公開講座

日時

2016年
7月5日(火)

13:30 開場
14:00 講演
～16:40 閉会

子どもの日常から 出発する プロジェクト型保育

—スウェーデンと日本の取り組み—

会場

愛知淑徳大学
長久手キャンパス
3号棟2階 324教室

プロジェクト型の保育とは、子どもたちの興味・関心を出発点とし、共通の目的やイメージに向かって、保育者と子どもと一緒に遊びや活動を展開していく保育実践のことです。日本では倉橋惣三の誘導保育論に取り入れられ、今日に至るまで、いくつかの幼稚園や保育園で取り組まれてきました。そして、最近ではレジョ・エミリアの幼児教育が世界的に注目される中で、改めてわが国の保育関係者の間で関心が高まっています。

そこで、プロジェクト型保育を行っているスウェーデンより、保育者をお招きして、スウェーデンと日本の保育実践について報告し合い、相互に学びを深めたいと思います。

本講座は愛知淑徳大学研究助成「特別教育研究」を受けて実施します。

- 13:30 受付
- 13:50 開会（挨拶、講師・通訳者の紹介）
- 14:00 第I部 講演 スウェーデンの保育実践
～絵本の世界から広がるプロジェクト活動～
講師：エンマ・リンドグレン、カミラ・ストルト（オルゴナ就学前学校）
通訳：ウェンドラー・由紀子（ソフィエルンド付属就学前校）
- 15:00 休憩
- 15:10 第II部 日本の保育実践報告
～船の中でパーティー、おほしさまこどもクリニック～
報告者：飯田里恵、山口真里（あかつき保育園）
- 15:50 ミニ講義「日本におけるプロジェクト型保育」
講師：宍戸健夫（愛知県立大学名誉教授）
- 16:20 質疑応答
- 16:40 閉会



